

平成19年8月23日現在

日本歯科企業協議会入会案内

日本歯科企業協議会設立の経緯と目的

日本歯科企業協議会は、昭和25年(1950年)頃、業界の有志により結成された「一五会」を母体とし、昭和46年(1971年)7月に発足致しました。

時あたかも激動の時代と呼ばれた1970年代を迎え、世界的に、政治・経済・社会のあらゆる分野において、急激かつ顕著な変化を生じ、歯科業界を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼすことが憂慮されました。

この変革の時にあたり、業界が時代の流れに適切に対応し、新しい時代にふさわしい秩序と調和のもと、さらに発展を続けていく為には、より広い視野に立って、メーカー、元卸売業及び二次卸売業が横に結んだ新しい組織によって英知を集め、一致団結して事に処することが緊要と、有志26名が発起人となり本会を結成した次第であります。

爾来、本会は「歯科器材、薬品の品質の向上、関係業者の資質の向上を通じ、新しい秩序と調和のもと、業界の健全な発展と、よりよき歯科医療のため、業界のシンクタンクとしての役割を果たすと同時に、有用な指導と奉仕を行う」ことを目的として各種の活動を続け、紆余曲折もありましたが、逐次その成果を拡充して参りました。

その後、昭和62年(1987年)3月、日本歯科商工協会が社団法人の認可を受け、名実共に業界の代表として活動を開始するに及び、本会はこれを機に、商工協会と表裏一体となり、特に本会の特色を発揮できる側面から協力して、引き続き業界の発展に尽くすことを申し合わせ、この際、本会創設以来の英文名 JDTA (Japan Dental Trade Association) を商工協会に譲渡し、JDIC(Japan Dental Industry Council)と改称いたしました。

平成3年(1991年)本会が設立20周年を迎えるにあたり、記念行事の一環として開催した「全員懇談会」において、20年の歴史をふりかえるとともに「今後の日本歯科企業協議会のあり方」をテーマに、参加者全員による検討を行いました。その結果、20年前決議された本会設立の趣意は、現在においても変わりなく適用でき、業界にとっても有用であることを再確認すると共に、従来にもまして、業界を横断的に組織した有志の集まりである本会の特色を活かし、「業界の活性化と健全な発展に寄与する」ことについて認識の一致をみた次第であります。

引き続き、内外情勢、特に業界を取り巻く経済環境が一段と厳しさを増す中、逐次

新世代の同志の加入もあり、会員の会務参画意欲も飛躍的に向上、新しい時代に即応して企業協議会としての、新しい行動規範を求める機運も昂まってまいりました。このような情勢の変化を踏まえ、一年有余の検討を経て平成6年(1994年)3月臨時総会を開き、本会設立以来の会則の改定をみました。

本会は、「会員の資質の向上研鑽と、英知の結集によって 業界の健全な発展を図るとともに、口腔衛生の向上 及び よりよき歯科医療に寄与するため、有用な助言と活動を行う」ことを目的とする、歯科業界の有志の「開かれた、行動する団体」であることを標榜し、新しい内部組織を整え、伝統ある本会設立理念を継承しつつ、新しい活動段階に入った次第であります。

日本歯科企業協議会の目的並びに存在意義をご理解頂き、今後とも益々皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げます。

以 上

入 会 の 条 件 手 続 き 等

【会員の部】

1 入会の条件・会費等

(1) 本会入会には会員2名以上の推薦を必要とし、運営委員会の承認により決定する。

(2) 入会金・会費については、「総会にて定める」ことになっておりますが、現行金額は次のとおりです。

入会金は：20万円（ご希望により分割払いの相談に応じます。）

会費は、当該企業の売上実績等を参考にして、A（6万円）、B（3万円）、C（2万円）、D（1万円）の4クラスに区分されます。なお、会費区分が異なっても、会員の権利は平等です。

会費は、一年分年まとめて4月に納入して頂きます。

入会承認後、顔写真（パスポート・サイズ）を事務局にお送り下さい。

2 定期刊行物

(1) J D I Cレポート（年2回）

(2) 歯科界整理年表

(3) 歯科医院の経営指標

3 申し込み用紙は、別紙第1のとおりです。

【準会員の部】

1 準会員の条件

- (1) 会員が、会員企業の後進育成のため、若しくは企業協の活動のため有用と判断した場合
- (2) 会費月額5000円(入会を認められた翌月から)、(入会金はなし)
- (3) 議決を要する事項には加わることができない。
- (4) 入会は運営委員会の承認を必要とする。

2 準会員の特典

会員同様に当会の活動に参加でき、会員との交流を図ることができる。また当会より会員資料の提供を行う。

3 入会手続き

別紙第2に定める申し込み用紙に必要事項を記載し、会員が申し込む。

申し込み用紙は、会員及び準会員とも、次のページにありますのでご利用ください。

日本歯科企業協議会 御中

入 会 申 込 書

日本歯科企業協議会設立の趣旨に賛成し、入会を申し込みます。

平成 年 月 日

住 所 : 〒

社 名 :

役 職 :

氏 名 :

印

生年月日:

電 話 :

F A X :

メールアドレス:

H P / U R L :

写真(パスポート用のサイズ:後日メール又は郵送をお願いします。)

実務代行者(実務代行者を指名する場合のみ)

役 職 :

氏 名 :

メールアドレス:

写真(パスポート用のサイズ:後日メール又は郵送をお願いします。)

推薦者 住 所 : 〒

社 名 :

役 職 :

氏 名 :

印

推薦者 住 所 : 〒

社 名 :

役 職 :

氏 名 :

印

日本歯科企業協議会 御中

準 会 員 入 会 申 込 書

日本歯科企業協議会準会員として、次のとおり入会を申し込みます。

平成 年 月 日

申込者（会員）

会員名：

印

準会員

住 所 ：〒

社 名 ：

役 職 ：

氏 名 ：

印

生年月日：

電話：

F A X：

メールアドレス：

U R L：

準会員

住 所 ：〒

社 名 ：

役 職 ：

氏 名 ：

印

生年月日：

電話：

F A X：

メールアドレス：

U R L：